4.5.1. 予測調整

GMDH Streamlineが立案した予測を、修正する必要が時折あるかもしれません。例えば、大規模な販売促進や処分セールまたは他のキャンペーンの実施予定がある場合です。このようなイベントは、将来の販売に確実に影響を与えます。しかしこの情報は履歴にないため、GMDH Streamlineはこのことを知りません。そこで、ユーザー自身の予測の調整が必要です。

ツリー ビューのすべての階層で、需要予測調整ができます。

次の手順に従い、統計的予測を調整します。:

1. **テーブル ビュー**にて変更対象の**ノード**を選択します。
2. **テーブル ビュー**の**予測調整**行の黄色いセルをクリックします。
3. 新しい値を入力し、**Enter**を入力します。



データ入力後、次の2つが実行されます。: 1)**プロット ビュー**が更新されます。2) **ツリー ビュー**内のノードが青文字で表示されます(アプリケーションでは、編集後のデータは、すべて青文字で表示されます。)。再度編集するには、調整されたセルをクリックし、新しい値を入力します。



プロジェクトの更新後やプロジェクトの再予測後は、予測調整は削除されません。

レポートタブの**予測調整**レポートから、すべての予測調整の要約を確認できます。



	グループ	品目コード	説明	地点	予測上書き 2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月
1	アルコール飲料	002661-1	ダークビール 缶 ...	東日本	1,300	1,500						
2	アルコール飲料	002661-1	ダークビール 缶 ...	西日本						400	500	300
3	衣類	004652-B	水着 青 [季節...	東日本								
4	衣類	004652-B	水着 青 [季節...	西日本								
5	衣類	004662-W	水着 白 (新製...	東日本	109	150	200					
6	衣類	004662-W	水着 白 (新製...	西日本								
7	飲料水	056329-PU	ペットボトル 500...	東日本		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
8	飲料水	056329-PU	ペットボトル 500...	西日本								
9	チョコレート	120565-MB	ミルク チョコレー...	東日本	700	900	100	1,200	1,000			
10	チョコレート	120565-MB	ミルク チョコレー...	西日本								
11	アルコール飲料	50046-W3L	プレミアム ワイン...	東日本								
12	アルコール飲料	50046-W3L	プレミアム ワイン...	西日本								
13	薬局	VR2156 200	ビタル レッド 20...	東日本								
14	薬局	VR2156 200	ビタル レッド 20...	西日本								

このレポートは、Excelへエクスポートができます、当然Excelにて編集ができます。さらに、編集内容をExcelに保存後、変更のインポートボタンを利用して、新しい調整値としてGMDH Streamlineにインポートもできます。

数式を利用した調整

予測調整では、次の文法に従った数式の予測調整ができます。:

- <演算子>[値] +250 *1.2 -150などが例になります。 <演算子> が + または -のとき、 [値] は整数のみです[1]
- <演算子1>[値1]<演算子2>[値2] *3.5+100 *2-50などが例になります。 <演算子1> は、 * だけが利用できます。 [値1] は整数または小数です。 <演算子2> は、 + または - が利用できます。 [値2] は整数のみです[2]

数式は、**統計的予測**行に対応するセル値の関係の操作を意味します。言い換えると、数式から統計的予測を増減できます。

次の手順に従い、数式を利用して予測を調整します。:

1. **需要予測タブ**を選択します。
2. **テーブル ビュー**の**予測調整**行の黄色いセルをクリックします。
3. 文法に従い、数式を入力します。
4. **Enter**を入力します。

下記のスクリーンショットにて例を紹介します。

	2018年12月	2019年1月
販売履歴	99	
統計的予測	75	83
予測上書き		+10

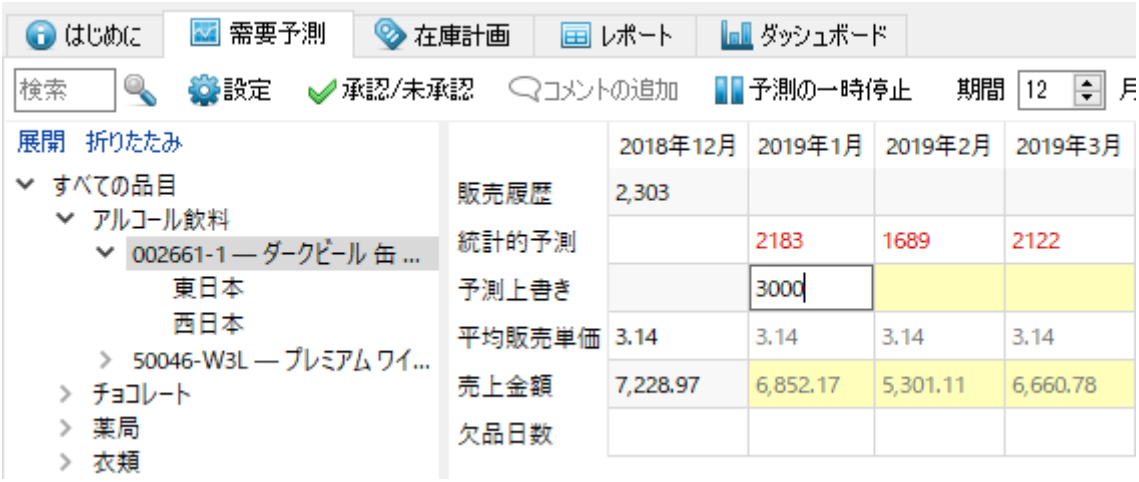
	2018年12月	2019年1月
販売履歴	99	
統計的予測	75	83
予測上書き		93

2019年1月の統計的予測は、**83**です。**予測調整**行にて +10 を入力し、その値を増やします。**Enter**入力後、最終的な結果は、**93**になります[3]。

分類レベルの調整

ツリー ビューの分類レベルにて調整をした場合、GMDH Streamlineは、子ノード間の比率に従い、葉ノードの調整セルに数式を挿入し、調整値を分配します[4]。分配アルゴリズムの都合上、入力された調整値がすべて適用されるとは限りません。ですが、入力された値に一番近い値が適用されます[5]。

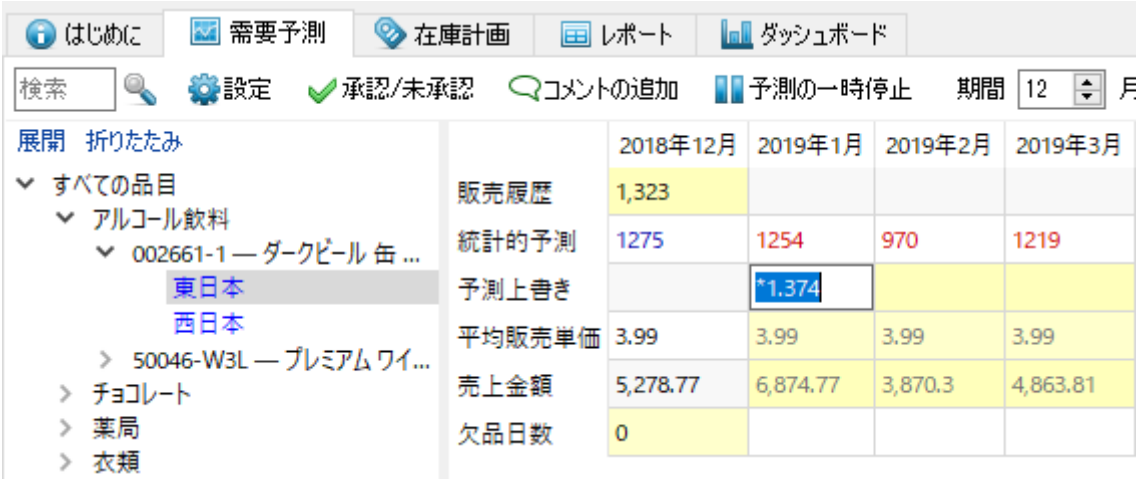
下記の例では、1月の品目レベルの予測値を **3000** に調整します。各品目は2つの地点を持つため、品目を分類の1つとみなすことができます。



2地点で分配するため、3000が**2999**に変更されました。



ツリー ビューにて、地点が青文字で表示されています。分類配下の計画品目には、数式として調整値が自動的に適用されています。



調整値の展開

数式の最後に > 記号を追加することで、調整値を将来の期間に展開できます。+250>□ *1.5>□ -150>□ 200> などが例となります。

次の手順に従い、調整値を展開します。:

1. 対象セルをクリックして、編集モードに切り替えます。
2. 数式の最後に、 > 記号を追加します。
3. **Enter**を入力します。

値の展開は、右クリックメニューからも実行できます。この場合、 **値の展開コマンド**を選択します。



値の展開は空欄セルにて実行され、空欄ではない最初のセルで停止します。[6)]



セルに数式が含まれる場合、値の展開コマンドは、空欄セルに(値ではなく)数式を展開します。展開後の解除は、右クリックメニューのチェックを外すか、セルの数式から > 記号を削除します。

	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2019年4月	2019年5月
販売履歴	99					
統計的予測	75	83	84	104	104	110
予測上書き		90 >	90	90	120	
平均販売単価	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89	1.89
売上金額	187.11	170.1	170.1	170.1	226.8	207.9
欠品日数	0					

次へ: 予測モデルの調整

PDFダウンロード

1)
翻訳者注釈 : GMDH Streamlineの予測値がXのとき、調整値は次の計算式に従います。 X <演算子> [値]
2)
翻訳者注釈 : GMDH Streamlineの予測値がXのとき、調整値は次の計算式に従います。 (X <演算子1> [値1]) <演算子2> [値2]
3)
翻訳者注釈: 数式を利用した調整のメリットは、再予測の結果も数式が適用できることです。
4)
翻訳者注釈: GMDH Streamlineの予測値が子ノードにて(100, 200, 500)の組み合わせのときに、親ノードである分類レベルで調整値として1000を入力すると、調整用の数式は、(*1.25, *1.25, *1.25)が設定されます。1.25は、1000/800=1.25から決定されます。2000を調整値とすると、(*2.5, *2.5, *2.5)が設定されます。品目分類、地点分類、チャネルなどの分類レベルがありますが、どの分類レベルでも、調整値を入力したときの子ノードに分配されます。
5)
翻訳者注釈: 予測値は整数の必要があり、予測値を分配し、再度合計した場合、入力値と一致するとは限りません。
6)
翻訳者注釈: 私たちの例では、2019年4月が空欄ではないセルのため、2019年1月の数式が、2019年2月と2019年3月に展開されます。

From:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:
https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:forecasts-adjustments

Last update: **2020/09/27 08:38**